

6.19 CIM 解決研究会第 50 回勉強会のご報告

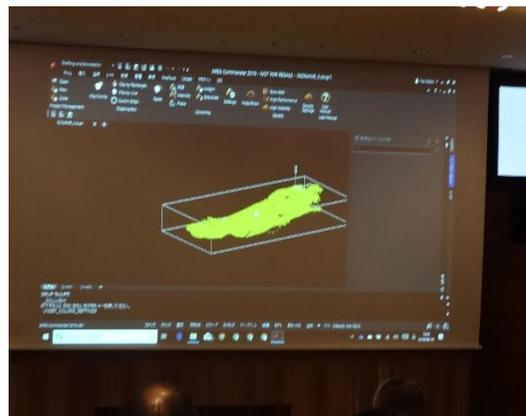
令和元年 6 月 27 日
CIM 解決研究会事務局

去る紀尾井フォーラムにおいて、46 名の参加者を得て第 50 回の CIM 解決研究会勉強会が開催されました。



「DWG 互換 CAD での働き方改革」 Graebert Japan 合同会社 江端陽二様、千葉浩様

CAD ソフト「ARES」の最新機能である、ブラウザ上での図面表示リンクの活用や、オンラインマップの読み込み、点群表示といった今後搭載予定の機能に関するお話を頂きました。参加者の方からは「ソフトを購入せずにクラウドでの協議が可能等、上手く活用できそう。」といった感想を頂きました。



「革新的技術導入で見えてきた橋梁工事における ICT 施工の将来展望」 オフィスケイワン(株) 保田敬一様

3D 設計照査による協議時間の短縮や、MR(複合現実)の現場における活用に関するお話を頂きました。参加者の方からは「検査の省力化等、新技術を活用した取り組みは大変興味深い。」といった感想を頂きました。



「現場の3次元化事例等」 当会 福士幹雄、齊藤学一

福士からは、6月17日に開催したCIM研 in 富山の報告や、全天球画像の活用方法に関するお話をさせて頂きました。齊藤からは、今後の会の展望に関するお話をさせて頂きました。参加者の方からは「実際に行っている事例を動画等含めて発表しているので、とても伝わりやすくて良かった。」といった感想を頂きました。



勉強会終了後の懇親会には26名の方にご参加いただきました。沢山ご来場頂き有難うございました。

